

注3

大学番号：005

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の設置

注1

意見伺い

国立大学法人帯広畜産大学大学院 畜産学研究科

注2

【意見伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人帯広畜産大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

戦略企画課企画係

職名・氏名 企画係員 ササキ 佐々木 シンスケ 慎祐

電話番号 0155-49-5302

(夜間) 0155-49-5302

F A X 0155-49-5229

e-mail kikakuka@obihiro.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学新設の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

帯広畜産大学大学院

<畜産学研究科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	10
3. 施設・設備の整備状況、経費	20
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	21
5. 教員組織の状況	22
6. 留意事項等に対する履行状況等	87
7. その他全般的事項	88

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人帯広畜産大学

(2) 大学名

帯広畜産大学

(3) 大学の位置

〒080-8555

北海道帯広市稲田町西2線11番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オクダ キヨシ) 奥田 潔 (平成28年1月1日)		
研究科長	(オクダ キヨシ) 奥田 潔 (平成30年4月1日)		
畜産科学 専攻長	(サトウ タダトシ) 佐藤 禎稔 (平成30年4月1日)		
獣医学 専攻長	(イシカワ トオル) 石川 透 (平成30年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
畜産学研究科 畜産科学専攻 (博士前期課程) 修士(農学・畜産衛生学・動物医科学)	農学関係	2	48	96	基礎となる学部等 畜産学部 畜産科学課程
	獣医学関係				
畜産学研究科 畜産科学専攻 (博士後期課程) 博士(農学・畜産衛生学)	農学関係	3	10	30	基礎となる学部等 畜産学研究科 畜産科学専攻 博士前期課程
	獣医学関係				
畜産学研究科 獣医学専攻(博士課程) 博士(獣医学)	農学関係	4	5	20	基礎となる学部等 畜産学部 共同獣医学課程
	獣医学関係				

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

(畜産科学専攻博士前期課程)

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	48 () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	1.18倍	
志願者数	62 (1) [13]	() () []								
受験者数	62 (1) [13]	() () []								
合格者数	58 (1) [11]	() () []								
B 入学者数	57 (1) [11]	() () []								
入学定員超過率 B/A	1.18									

(畜産科学専攻博士後期課程)

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 10 (-) [-]	人	人	人	人	人	人	人	0.80倍	
志願者数	8 (3) (-) [3] [-]	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()		
受験者数	8 (3) (-) [3] [-]	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()		
合格者数	8 (3) (-) [3] [-]	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()		
B 入学者数	8 (3) (-) [3] [-]	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()		
入学定員超過率 B/A	0.80									

(獣医学課程博士課程)

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 5 (-) [-]	人	人	人	人	人	人	人	0.40倍	
志願者数	2 (0) (-) [1] [-]	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()		
受験者数	2 (0) (-) [1] [-]	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()		
合格者数	2 (0) (-) [1] [-]	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()		
B 入学者数	2 (0) (-) [1] [-]	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()		
入学定員超過率 B/A	0.4									

(注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ () 内には、社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

(畜産科学専攻博士前期課程)

報告年度 学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	57 [11] (-)	- (-) [-]	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計			57 [11] (-)	[] ()					

(畜産科学専攻博士後期課程)

報告年度 学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	8 [3] (-)	- (-) [-]	[] ()						
2年次	/		[] ()						
3年次			/		[] ()				
計	8 [3] (-)	[] ()			[] ()				

(獣医学課程博士課程)

報告年度 学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	2 [1] (-)	- (-) [-]	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()				
4年次	/				[] ()				
計			2 [1] (-)	[] ()					

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況 (畜産科学専攻 博士前期課程)

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	57 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
合 計	57 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学 (大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{57} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況 (畜産科学専攻 博士後期課程)

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	8 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
合 計	8 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況（獣医学専攻 博士課程）

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	2人	0人	平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
合計	2人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{2} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<畜産科学専攻 博士前期課程>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通必修科目	国際農畜産衛生科学特論	1・2①	2			5	4	0	0	0	3
	生物資源環境科学特論	1・2①	2			8	4	0	1	0	
	特別研究特論	1・2	2			24	21	1	11	0	45
	English Communication for Science	1・2前	2			0	0	0	0	0	3
共通選択科目	環境法制度論	1・2前	2			0	0	0	0	0	1
	教育学特論	1・2前	2			0	0	0	0	0	1
	教育心理学特論	1・2後	2			0	0	0	0	0	1
	歴史と生命	1・2前	2			0	0	0	0	0	1
	体育と健康	1・2前	2			0	0	0	0	0	2
	「北海道文学」論	1・2前	2			0	0	0	0	0	1
	西洋環境文化論	1・2後	2			0	0	0	0	0	1
	外交と食料	1・2前	2			0	0	0	0	0	1
	知的財産制度論	1・2前	2			0	0	0	0	0	1
	教育統計と教育データ分析	1・2後	2			0	0	0	0	0	1
	海外フィールドワークⅠ	1・2	2			1	0	0	0	0	1
	海外フィールドワークⅡ	1・2	4			1	0	0	0	0	1
	国内フィールドワーク	1・2	2			24	19	1	1	0	39
	アカデミックプレゼンテーション演習	1・2	2			24	19	1	1	0	39
	コーポレートワーク演習	1・2	2			24	19	1	1	0	39
	畜産衛生学特論	1・2②	2			2	5	0	0	0	
	食品衛生・有害物質特論	1・2④	2			1	1	0	0	0	4
	畜産衛生課題研究	2通	4			1	0	0	0	0	
	HACCPシステム構築演習	1・2	2			1	0	0	0	0	
	食品関連法規と食品製造・加工設備安全特論	1・2	2			1	0	0	0	0	
食品検査学演習	1・2	2			1	1	0	0	0	8	
食品流通・地域産業活性化特論	1・2②	2			1	0	0	0	0		
企業戦略特論	1・2③	2			1	0	0	0	0		
専門科目	家畜生産科学特別研究Ⅰ	1・2通	4			3	7	1	2	0	1
	家畜生産科学特別研究Ⅱ	2通	4			3	7	1	4	0	1
	家畜生産科学特論	1・2①	2			3	7	1	4	0	1
	家畜生産科学特別演習	1・2通	4			3	7	1	4	0	1
	家畜育種繁殖学特論	1・2②	2			2	3	0	1	0	
	家畜管理栄養学特論	1・2③	2			0	3	1	1	0	1
	家畜生体機能学特論	1・2④	2			1	1	0	2	0	
	環境生態学特別研究Ⅰ	1・2通	4			2	2	0	2	0	
	環境生態学特別研究Ⅱ	2通	4			2	2	0	2	0	
	環境生態学特論	1・2①	2			2	2	0	3	0	
	環境生態学特別演習	1・2通	4			2	2	0	3	0	
	環境生命科学特論	1・2④	2			2	2	0	3	0	
	生態システム生命科学特論	1・2③	2			1	2	0	3	0	
	保全生態リスク管理学特論	1・2②	2			2	2	0	3	0	
	食品科学特別研究Ⅰ	1・2通	4			8	5	0	2	0	
	食品科学特別研究Ⅱ	2通	4			8	5	0	2	0	
	食品科学特論	1・2①	2			5	3	0	0	0	1
	食品科学特別演習	1・2通	4			8	5	0	2	0	
	食品加工・利用学特論	1・2②	2			3	2	0	0	0	1
	食品栄養化学特論	1・2③	2			2	1	0	1	0	
	食品機能科学特論	1・2④	2			2	2	0	1	0	
	農業経済学特別研究Ⅰ	1・2通	4			3	1	0	1	0	
	農業経済学特別研究Ⅱ	2通	4			3	1	0	1	0	
	農業経済学特論	1・2①	2			4	1	0	1	0	
農業経済学特別演習	1・2通	4			4	1	0	1	0		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通必修科目	国際農畜産衛生科学特論	1・2①	2			6	3	0	0	0	3
	生物資源環境科学特論	1・2①	2			9	2	0	1	0	
	特別研究特論	1・2	2			28	16	0	11	0	44
	English Communication for Science	1・2前	2			0	0	0	0	0	3
共通選択科目	環境法制度論	1・2前	2			0	0	0	0	0	1
	教育学特論	1・2前	2			0	0	0	0	0	1
	教育心理学特論	1・2後	2			0	0	0	0	0	1
	歴史と生命	1・2前	2			0	0	0	0	0	1
	体育と健康	1・2前	2			0	0	0	0	0	2
	「北海道文学」論	1・2前	2			0	0	0	0	0	1
	西洋環境文化論	1・2後	2			0	0	0	0	0	1
	外交と食料	1・2前	2			0	0	0	0	0	1
	知的財産制度論	1・2前	2			0	0	0	0	0	1
	教育統計と教育データ分析	1・2後	2			0	0	0	0	0	1
	海外フィールドワークⅠ	1・2	2			1	0	0	0	0	1
	海外フィールドワークⅡ	1・2	4			1	0	0	0	0	1
	国内フィールドワーク	1・2	2			28	14	0	1	0	38
	アカデミックプレゼンテーション演習	1・2	2			28	14	0	1	0	38
	コーポレートワーク演習	1・2	2			28	14	0	1	0	38
	畜産衛生学特論	1・2②	2			1	4	0	1	0	
	食品衛生・有害物質特論	1・2④	2			1	1	0	0	0	4
	畜産衛生課題研究	2通	4			1	0	0	0	0	
	HACCPシステム構築演習	1・2	2			1	0	0	0	0	
	食品関連法規と食品製造・加工設備安全特論	1・2	2			1	0	0	0	0	
食品検査学演習	1・2	2			1	1	0	0	0	8	
食品流通・地域産業活性化特論	1・2②	2			1	0	0	0	0		
企業戦略特論	1・2③	2			1	0	0	0	0		
専門科目	家畜生産科学特別研究Ⅰ	1・2通	4			4	6	0	2	0	1
	家畜生産科学特別研究Ⅱ	2通	4			4	6	0	4	0	1
	家畜生産科学特論	1・2①	2			4	6	0	4	0	1
	家畜生産科学特別演習	1・2通	4			4	6	0	4	0	1
	家畜育種繁殖学特論	1・2②	2			2	2	0	1	0	
	家畜管理栄養学特論	1・2③	2			1	3	0	1	0	1
	家畜生体機能学特論	1・2④	2			1	1	0	2	0	
	環境生態学特別研究Ⅰ	1・2通	4			2	2	0	2	0	
	環境生態学特別研究Ⅱ	2通	4			2	2	0	2	0	
	環境生態学特論	1・2①	2			2	2	0	3	0	
	環境生態学特別演習	1・2通	4			2	2	0	3	0	
	環境生命科学特論	1・2④	2			2	2	0	3	0	
	生態システム生命科学特論	1・2③	2			1	2	0	3	0	
	保全生態リスク管理学特論	1・2②	2			2	2	0	3	0	
	食品科学特別研究Ⅰ	1・2通	4			8	4	0	2	0	
	食品科学特別研究Ⅱ	2通	4			8	4	0	2	0	
	食品科学特論	1・2①	2			5	2	0	0	0	1
	食品科学特別演習	1・2通	4			8	4	0	2	0	
	食品加工・利用学特論	1・2②	2			2	2	0	0	0	1
	食品栄養化学特論	1・2③	2			2	1	0	1	0	
	食品機能科学特論	1・2④	2			2	2	0	1	0	
	農業経済学特別研究Ⅰ	1・2通	4			4	0	0	1	0	
	農業経済学特別研究Ⅱ	2通	4			4	0	0	1	0	
	農業経済学特論	1・2①	2			5	0	0	1	0	
農業経済学特別演習	1・2通	4			5	0	0	1	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	畜産経営学特論	1-2③	2			1	1	0	0	0		
	農業政策学特論	1-2④	2			1	0	0	0	0		
	応用農業統計学特論	1-2②	2			2	0	0	0	0		
	農業環境工学特別研究Ⅰ	1-2通	4			4	3	0	0	0		
	農業環境工学特別研究Ⅱ	2通	4			4	3	0	0	0		
	農業環境工学特論	1-2①	2			4	3	0	0	0		
	農業環境工学特別演習	1-2通	4			4	3	0	0	0		
	農業機械システム工学特論	1-2④	2			3	1	0	0	0		
	農業農村工学特論	1-2②	2			1	1	0	0	0		
	農業環境物理学特論	1-2③	2			0	1	0	0	0		
	植物生産科学特別研究Ⅰ	1-2通	4			4	3	0	4	0		
	植物生産科学特別研究Ⅱ	2通	4			4	3	0	4	0		
	植物生産科学特論	1-2①	2			4	3	0	4	0		
	植物生産科学特別演習	1-2通	4			4	3	0	4	0		
	植物遺伝育種学特論	1-2③	2			2	2	0	3	0		
	植物生産環境学特論	1-2④	2			3	1	0	3	0		
	植物生産管理学特論	1-2②	2			3	1	0	2	0		
	動物医科学特別研究Ⅰ	1-2通	4			0	0	0	0	0	44	
	動物医科学特別研究Ⅱ	2通	4			0	0	0	0	0	44	
	動物医科学特論	1-2①	2			0	0	0	0	0	8	
動物医科学特別演習	1-2通	4			0	0	0	0	0	24		
動物機能医科学特論Ⅰ	1-2②	2			0	0	0	0	0	4		
動物機能医科学特論Ⅱ	1-2③	2			0	0	0	0	0	5		
動物病態・病因制御学特論Ⅰ	1-2②	2			0	0	0	0	0	4		
動物病態・病因制御学特論Ⅱ	1-2③	2			0	0	0	0	0	8		
動物臨床科学特論Ⅰ	1-2②	2			0	0	0	0	0	5		
動物臨床科学特論Ⅱ	1-2③	2			0	0	0	0	0	5		
動物臨床科学特論Ⅲ	1-2④	2			0	0	0	0	0	3		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	畜産経営学特論	1-2③	2			2	0	0	0	0		
	農業政策学特論	1-2④	2			1	0	0	0	0		
	応用農業統計学特論	1-2②	2			2	0	0	0	0		
	農業環境工学特別研究Ⅰ	1-2通	4			5	2	0	0	0		
	農業環境工学特別研究Ⅱ	2通	4			5	2	0	0	0		
	農業環境工学特論	1-2①	2			5	2	0	0	0		
	農業環境工学特別演習	1-2通	4			5	2	0	0	0		
	農業機械システム工学特論	1-2④	2			3	1	0	0	0		
	農業農村工学特論	1-2②	2			2	0	0	0	0		
	農業環境物理学特論	1-2③	2			0	1	0	0	0		
	植物生産科学特別研究Ⅰ	1-2通	4			5	2	0	4	0		
	植物生産科学特別研究Ⅱ	2通	4			5	2	0	4	0		
	植物生産科学特論	1-2①	2			5	2	0	4	0		
	植物生産科学特別演習	1-2通	4			5	2	0	4	0		
	植物遺伝育種学特論	1-2③	2			2	2	0	3	0		
	植物生産環境学特論	1-2④	2			3	1	0	3	0		
	植物生産管理学特論	1-2②	2			3	1	0	2	0		
	動物医科学特別研究Ⅰ	1-2通	4			0	0	0	0	0	43	
	動物医科学特別研究Ⅱ	2通	4			0	0	0	0	0	43	
	動物医科学特論	1-2①	2			0	0	0	0	0	8	
動物医科学特別演習	1-2通	4			0	0	0	0	0	23		
動物機能医科学特論Ⅰ	1-2②	2			0	0	0	0	0	4		
動物機能医科学特論Ⅱ	1-2③	2			0	0	0	0	0	5		
動物病態・病因制御学特論Ⅰ	1-2②	2			0	0	0	0	0	4		
動物病態・病因制御学特論Ⅱ	1-2③	2			0	0	0	0	0	8		
動物臨床科学特論Ⅰ	1-2②	2			0	0	0	0	0	5		
動物臨床科学特論Ⅱ	1-2③	2			0	0	0	0	0	4		
動物臨床科学特論Ⅲ	1-2④	2			0	0	0	0	0	3		

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教員の教授昇格1により、「国際農畜産衛生科学特論」の専任教員等の配置を「教授5、准教授4、兼任3」から「教授6、准教授3、兼任3」に変更。
- ・教員の教授昇格1と懲戒解雇1により、「生物資源環境科学特論」の専任教員等の配置を「教授8、准教授4、助教1」から「教授9、准教授2、助教1」に変更。
- ・教員の教授昇格5、准教授昇格1、辞職2(うち兼任1)、懲戒解雇1により、「特別研究特論」の専任教員等の配置を「教授24、准教授21、講師1、助教11、兼任45」から「教授28、准教授16、講師0、助教11、兼任44」に変更。
- ・教員の教授昇格5、准教授昇格1、辞職2(うち兼任1)、懲戒解雇1により、「国内フィールドワーク」「アカデミックプレゼンテーション演習」「コーポレートワーク演習」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授24、准教授19、講師1、助教1、兼任39」から「教授28、准教授14、講師0、助教1、兼任38」に変更。
- ・教員の辞職1と懲戒解雇1に伴う担当教員の変更により、「畜産衛生学特論」の専任教員等の配置を「教授2、准教授5、助教0」から「教授1、准教授4、助教1」に変更。
- ・教員の教授昇格1、准教授昇格1、懲戒解雇1により、「家畜生産科学特別研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授7、講師1、助教2、兼任1」から「教授4、准教授6、講師0、助教2、兼任1」に変更。
- ・教員の教授昇格1、准教授昇格1、懲戒解雇1により、「家畜生産科学特別研究Ⅱ」「家畜生産科学特論」「家畜生産科学特別演習」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授3、准教授7、講師1、助教4、兼任1」から「教授4、准教授6、講師0、助教4、兼任1」に変更。
- ・教員の懲戒解雇1により、「家畜育種繁殖学特論」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3、助教1」から「教授2、准教授2、助教1」に変更。
- ・教員の教授昇格1、准教授昇格1により、「家畜管理栄養学特論」の専任教員等の配置を「教授0、准教授3、講師1、助教1、兼任1」から「教授1、准教授3、講師0、助教1、兼任1」に変更。
- ・教員の教授昇格1と辞職1により、「食品科学特別研究Ⅰ」「食品科学特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授8、准教授5、助教2」から「教授8、准教授4、助教2」に変更。
- ・教員の教授昇格1と辞職教員の非常勤就任による兼任教員への変更により、「食品科学特論」の専任教員等の配置を「教授5、准教授3」から「教授5、准教授2、兼任1」に変更。
- ・教員の教授昇格1と辞職1により、「食品科学特別演習」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、助教2」から「教授8、准教授4、助教2」に変更。
- ・辞職教員の非常勤就任による兼任教員への変更により、「食品加工・利用学特論」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2」から「教授2、准教授2、兼任1」に変更。
- ・教員の教授昇格1により、「農業経済学特別研究Ⅰ」「農業経済学特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授3、准教授1、助教1」から「教授4、准教授0、助教1」に変更。
- ・教員の教授昇格1により、「農業経済学特論」「農業経済学特別演習」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授4、准教授1、助教1」から「教授5、准教授0、助教1」に変更。
- ・教員の教授昇格1により、「畜産経営学特論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2、准教授0」に変更。
- ・教員の教授昇格1により、「農業環境工学特別研究Ⅰ」「農業環境工学特別研究Ⅱ」「農業環境工学特論」「農業環境工学特別演習」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授4、准教授3」から「教授5、准教授2」に変更。
- ・教員の教授昇格1により、「農業農村工学特論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2、准教授0」に変更。
- ・教員の教授昇格1により、「植物生産科学特別研究Ⅰ」「植物生産科学特別研究Ⅱ」「植物生産科学特論」「植物生産科学特別演習」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授4、准教授3、助教4」から「教授5、准教授2、助教4」に変更。
- ・兼任教員の辞職1により、「動物医科学特別研究Ⅰ」「動物医科学特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置をそれぞれ「兼任44」から「兼任43」に変更。
- ・兼任教員の辞職1により、「動物医科学特別演習」の専任教員等の配置を「兼任24」から「兼任23」に変更。
- ・兼任教員の辞職1により、「動物臨床科学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任5」から「兼任4」に変更。

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
4 科目	76 科目	0 科目	80 科目	4 科目 [0]	76 科目 [0]	0 科目 [0]	80 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2				該当無し		
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2				該当無し		
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{80} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

<畜産科学専攻 博士後期課程>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通必修科目	リサーチコミュニケーション	1-2-3	1			23	21	1	14	0	42
	獣医・農畜産学特論	1-2-3	1			23	19	1	14	0	42
	獣医・農畜産学特別演習	1-2-3	1			22	21	1	11	0	39
	特別研究	1-2-3通	6			22	21	1	11	0	39
研究科共通選択科目	国内リサーチ演習	1-2-3		2		22	13	0	0	0	23
	海外リサーチ演習	1-2-3		2		22	13	0	0	0	23
	国内フィールドワーク演習	1-2-3		2		22	13	0	0	0	23
	海外フィールドワーク演習	1-2-3		2		22	13	0	0	0	23
	リサーチポータル演習	1-2-3		2		23	21	1	14	0	45
	リサーチデータ解析演習	1-2-3		2		23	21	1	14	0	42
	リサーチプレゼンテーション演習	1-2-3		2		23	21	1	14	0	45
	リサーチペーパーライティング演習	1-2-3		2		23	21	1	14	0	45
	リサーチマネージメント演習	1-2-3		2		23	21	1	14	0	42
	アカデミックレクチャー演習	1-2-3		2		22	20	1	11	0	42
	アカデミックティーチング演習	1-2-3		2		22	20	1	11	0	39
	社会人特別演習	1-2-3		2		22	13	0	0	0	23
	食品安全マネジメント・内部監査演習	1-2-3		2		1	0	0	0	0	0
	家畜疫学特論	1-2-3①		2		1	0	0	0	0	1
家畜衛生学特論	1-2-3②		2		1	3	0	0	0	0	
衛生経済学特論	1-2-3③		2		0	1	0	0	0	0	
国際衛生制度特論	1-2-3④		2		0	0	1	0	0	2	
畜産選択科目	獣医・農畜産学特別講義	1-2-3通		1		20	8	0	0	0	23
	English Communication for Science	1-2-3前		2		0	0	0	0	0	3

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通必修科目	リサーチコミュニケーション	1-2-3	1			28	16	0	14	0	41
	獣医・農畜産学特論	1-2-3	1			28	14	0	14	0	41
	獣医・農畜産学特別演習	1-2-3	1			27	16	0	11	0	38
	特別研究	1-2-3通	6			27	16	0	11	0	38
研究科共通選択科目	国内リサーチ演習	1-2-3		2		27	7	0	0	0	22
	海外リサーチ演習	1-2-3		2		27	7	0	0	0	22
	国内フィールドワーク演習	1-2-3		2		27	7	0	0	0	22
	海外フィールドワーク演習	1-2-3		2		27	7	0	0	0	22
	リサーチポータル演習	1-2-3		2		28	16	0	14	0	44
	リサーチデータ解析演習	1-2-3		2		28	16	0	14	0	41
	リサーチプレゼンテーション演習	1-2-3		2		28	16	0	14	0	44
	リサーチペーパーライティング演習	1-2-3		2		28	16	0	14	0	44
	リサーチマネージメント演習	1-2-3		2		28	16	0	14	0	41
	アカデミックレクチャー演習	1-2-3		2		27	15	0	11	0	41
	アカデミックティーチング演習	1-2-3		2		27	15	0	11	0	38
	社会人特別演習	1-2-3		2		27	7	0	0	0	22
	食品安全マネジメント・内部監査演習	1-2-3		2		1	0	0	0	0	0
	家畜疫学特論	1-2-3①		2		1	0	0	0	0	1
家畜衛生学特論	1-2-3②		2		1	2	0	0	0	0	
衛生経済学特論	1-2-3③		2		1	0	0	0	0	0	
国際衛生制度特論	1-2-3④		2		0	1	0	0	0	2	
畜産選択科目	獣医・農畜産学特別講義	1-2-3通		1		25	2	0	0	0	22
	English Communication for Science	1-2-3前		2		0	0	0	0	0	3

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教員の教授昇格5, 准教授昇格1, 退職1, 懲戒解雇1により, 「リサーチコミュニケーション」「リサーチデータ解析演習」「リサーチマネジメント演習」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授23, 准教授21, 講師1, 助教14, 兼担42」から「教授28, 准教授16, 講師0, 助教14, 兼担41」に変更。
- ・教員の教授昇格5, 准教授昇格1, 退職1, 懲戒解雇1により, 「獣医・農畜産学特論」の専任教員等の配置を「教授23, 准教授19, 講師1, 助教14, 兼担42」から「教授28, 准教授14, 講師0, 助教14, 兼担41」に変更。
- ・教員の教授昇格5, 准教授昇格1, 退職1, 懲戒解雇1により, 「獣医・農畜産学特別演習」「特別研究」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授22, 准教授21, 講師1, 助教11, 兼担39」から「教授27, 准教授16, 講師0, 助教11, 兼担38」に変更。
- ・教員の教授昇格5, 退職1, 懲戒解雇1により, 「国内リサーチ演習」「海外リサーチ演習」「国内フィールドワーク演習」「海外フィールドワーク演習」「社会人特別演習」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授22, 准教授13, 兼担23」から「教授27, 准教授7, 兼担22」に変更。
- ・教員の教授昇格5, 准教授昇格1, 退職1, 懲戒解雇1により, 「リサーチプロポーザル演習」「リサーチプレゼンテーション演習」「リサーチペーパーライティング演習」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授23, 准教授21, 講師1, 助教14, 兼担45」から「教授28, 准教授16, 講師0, 助教14, 兼担44」に変更。
- ・教員の教授昇格5, 准教授昇格1, 退職1, 懲戒解雇1により, 「アカデミックレクチャー演習」の専任教員等の配置を「教授22, 准教授20, 講師1, 助教11, 兼担42」から「教授27, 准教授15, 講師0, 助教11, 兼担41」に変更。
- ・教員の教授昇格5, 准教授昇格1, 退職1, 懲戒解雇1により, 「アカデミックティーチング演習」の専任教員等の配置を「教授22, 准教授20, 講師1, 助教11, 兼担39」から「教授27, 准教授15, 講師0, 助教11, 兼担38」に変更。
- ・教員の懲戒解雇1により, 「家畜衛生学特論」の専任教員等の配置を「教授1, 准教授3」から「教授1, 准教授2」に変更。
- ・教員の教授昇格1により, 「衛生経済学特論」の専任教員等の配置を「教授0, 准教授1」から「教授1, 准教授0」に変更。
- ・教員の准教授昇格1により, 「国際衛生制度特論」の専任教員等の配置を「准教授0, 講師1, 兼担2」から「准教授1, 講師0, 兼担2」に変更。
- ・教員の教授昇格5, 退職1, 懲戒解雇1により, 「獣医・農畜産学特開講義」の専任教員等の配置を「教授20, 准教授8, 兼担23」から「教授25, 准教授2, 兼担22」に変更。

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
4	19	0	23	4	19	0	23	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに, [] 内に, 設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2				該当無し		
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2				該当無し		
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{23} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

<獣医学専攻 博士課程>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通必修科目	リサーチコミュニケーション	1-2-3-4	1			17	10	2	12	0	59
	獣医・農畜産学特論	1-2-3-4	1			17	10	2	13	0	58
	獣医・農畜産学特別演習	1-2-3-4	1			16	10	2	10	0	55
	特別研究	1-2-3-4	6			16	10	2	10	0	55
研究科共通選択科目	国内リサーチ演習	1-2-3-4		2		15	8	0	0	0	35
	海外リサーチ演習	1-2-3-4		2		15	8	0	0	0	35
	国内フィールドワーク演習	1-2-3-4		2		15	8	0	0	0	35
	海外フィールドワーク演習	1-2-3-4		2		15	8	0	0	0	35
	リサーチプロポーザル演習	1-2-3-4		2		17	10	2	13	0	62
	リサーチデータ解析演習	1-2-3-4		2		17	10	2	13	0	59
	リサーチプレゼンテーション演習	1-2-3-4		2		17	10	2	13	0	62
	リサーチペーパーライティング演習	1-2-3-4		2		17	10	2	13	0	62
	リサーチマネージメント演習	1-2-3-4		2		17	10	2	13	0	59
	アカデミックレクチャー演習	1-2-3-4		2		16	10	2	10	0	57
	アカデミックティーチング演習	1-2-3-4		2		16	10	2	10	0	54
	社会人特別演習	1-2-3-4		2		15	8	0	0	0	35
	食品安全マネジメント・内部監査演習	1-2-3-4		2		0	0	0	0	0	2
	家畜疫学特論	1-2-3-4		2		0	0	1	0	0	1
	家畜衛生学特論	1-2-3-4		2		0	0	0	0	0	4
	衛生経済学特論	1-2-3-4		2		0	0	0	0	0	1
国際衛生制度特論	1-2-3-4		2		0	0	0	0	0	3	
専攻科目	English Communication for Science	1-2-3-4	2			0	0	0	0	0	3
	獣医・農畜産学特別講義	1-2-3-4	1			15	8	0	0	0	28
	獣医学特論Ⅰ	1-2-3-4	2			17	9	0	0	0	1
	獣医学特論Ⅱ	1-2-3-4	2			17	9	0	13	0	1
	獣医学特別演習Ⅰ	1-2-3-4	1			15	8	0	0	0	
	獣医学特別演習Ⅱ	1-2-3-4	1			15	8	0	0	0	
	基礎獣医学特論	1-2-3-4		2		6	5	0	0	0	
	基礎獣医学特別演習Ⅰ	1-2-3-4		2		6	5	0	0	0	
	基礎獣医学特別演習Ⅱ	1-2-3-4		2		6	5	0	0	0	
	臨床獣医学特論	1-2-3-4		2		4	3	0	0	0	1
	臨床獣医学特別演習Ⅰ	1-2-3-4		2		4	3	0	0	0	
	臨床獣医学特別演習Ⅱ	1-2-3-4		2		4	3	0	0	0	
	応用獣医学特論	1-2-3-4		2		7	1	0	0	0	
	応用獣医学特別演習Ⅰ	1-2-3-4		2		7	1	0	0	0	
	応用獣医学特別演習Ⅱ	1-2-3-4		2		7	1	0	0	0	
	動物医療センター特別演習	1-2-3-4		1		6	3	0	0	0	1
動物・食品検査センター特別演習	1-2-3-4		1		2	1	1	1	0		
原虫病研究センター特別演習	1-2-3-4		1		4	3	0	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通必修科目	リサーチコミュニケーション	1-2-3-4	1			18	10	2	10	0	58
	獣医・農畜産学特論	1-2-3-4	1			18	10	2	11	0	57
	獣医・農畜産学特別演習	1-2-3-4	1			17	10	2	8	0	54
	特別研究	1-2-3-4	6			17	10	2	8	0	54
研究科共通選択科目	国内リサーチ演習	1-2-3-4		2		16	6	0	0	0	34
	海外リサーチ演習	1-2-3-4		2		16	6	0	0	0	34
	国内フィールドワーク演習	1-2-3-4		2		16	6	0	0	0	34
	海外フィールドワーク演習	1-2-3-4		2		16	6	0	0	0	34
	リサーチプロポーザル演習	1-2-3-4		2		18	10	2	11	0	61
	リサーチデータ解析演習	1-2-3-4		2		18	10	2	11	0	58
	リサーチプレゼンテーション演習	1-2-3-4		2		18	10	2	11	0	61
	リサーチペーパーライティング演習	1-2-3-4		2		18	10	2	11	0	61
	リサーチマネージメント演習	1-2-3-4		2		18	10	2	11	0	58
	アカデミックレクチャー演習	1-2-3-4		2		17	10	2	8	0	56
	アカデミックティーチング演習	1-2-3-4		2		17	10	2	8	0	53
	社会人特別演習	1-2-3-4		2		16	6	0	0	0	34
	食品安全マネジメント・内部監査演習	1-2-3-4		2		0	0	0	0	0	2
	家畜疫学特論	1-2-3-4		2		0	0	1	0	0	1
	家畜衛生学特論	1-2-3-4		2		0	0	0	0	0	3
	衛生経済学特論	1-2-3-4		2		0	0	0	0	0	1
国際衛生制度特論	1-2-3-4		2		0	0	0	0	0	3	
専攻科目	English Communication for Science	1-2-3-4	2			0	0	0	0	0	3
	獣医・農畜産学特別講義	1-2-3-4	1			16	6	0	0	0	27
	獣医学特論Ⅰ	1-2-3-4	2			18	7	0	0	0	1
	獣医学特論Ⅱ	1-2-3-4	2			18	7	0	13	0	1
	獣医学特別演習Ⅰ	1-2-3-4	1			16	6	0	0	0	
	獣医学特別演習Ⅱ	1-2-3-4	1			16	6	0	0	0	
	基礎獣医学特論	1-2-3-4		2		7	4	0	0	0	
	基礎獣医学特別演習Ⅰ	1-2-3-4		2		7	4	0	0	0	
	基礎獣医学特別演習Ⅱ	1-2-3-4		2		7	4	0	0	0	
	臨床獣医学特論	1-2-3-4		2		4	2	0	0	0	1
	臨床獣医学特別演習Ⅰ	1-2-3-4		2		4	2	0	0	0	
	臨床獣医学特別演習Ⅱ	1-2-3-4		2		4	2	0	0	0	
	応用獣医学特論	1-2-3-4		2		7	1	0	0	0	
	応用獣医学特別演習Ⅰ	1-2-3-4		2		7	1	0	0	0	
	応用獣医学特別演習Ⅱ	1-2-3-4		2		7	1	0	0	0	
	動物医療センター特別演習	1-2-3-4		1		6	2	0	0	0	1
動物・食品検査センター特別演習	1-2-3-4		1		2	1	1	1	0		
原虫病研究センター特別演習	1-2-3-4		1		5	2	0	0	0		

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・教員の教授昇格1, 准教授昇格2, 退職1, 懲戒解雇1により, 「リサーチコミュニケーション」の専任教員等の配置を「教授17, 准教授10, 講師2, 助教12, 兼担59」から「教授18, 准教授10, 講師2, 助教10, 兼担58」に変更。 ・教員の教授昇格1, 准教授昇格2, 退職1, 懲戒解雇1により, 「獣医・農畜産学特論」の専任教員等の配置を「教授17, 准教授10, 講師2, 助教13, 兼担58」から「教授18, 准教授10, 講師2, 助教11, 兼担57」に変更。 ・教員の教授昇格1, 准教授昇格2, 退職1, 懲戒解雇1により, 「獣医・農畜産学特別演習」「特別研究」の専任教員等の配置を「教授16, 准教授10, 講師2, 助教10, 兼担55」から「教授17, 准教授10, 講師2, 助教8, 兼担54」に変更。 ・教員の教授昇格1, 退職1, 懲戒解雇1により, 「国内リサーチ演習」「海外リサーチ演習」「国内フィールドワーク演習」「海外フィールドワーク演習」「社会人特別演習」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授15, 准教授8, 兼担35」から「教授16, 准教授6, 兼担34」に変更。 ・教員の教授昇格1, 准教授昇格2, 退職1, 懲戒解雇1により, 「リサーチプロポーザル演習」「リサーチプレゼンテーション演習」「リサーチペーパーライティング演習」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授17, 准教授10, 講師2, 助教13, 兼担62」から「教授18, 准教授10, 講師2, 助教11, 兼担61」に変更。 ・教員の教授昇格1, 准教授昇格2, 退職1, 懲戒解雇1により, 「リサーチデータ解析演習」「リサーチマネジメント演習」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授17, 准教授10, 講師2, 助教13, 兼担59」から「教授18, 准教授10, 講師2, 助教11, 兼担58」に変更。 ・教員の教授昇格1, 准教授昇格2, 退職1, 懲戒解雇1により, 「アカデミックレクチャー演習」の専任教員等の配置を「教授16, 准教授10, 講師2, 助教10, 兼担57」から「教授17, 准教授10, 講師2, 助教8, 兼担56」に変更。 ・教員の教授昇格1, 准教授昇格2, 退職1, 懲戒解雇1により, 「アカデミックティーチング演習」の専任教員等の配置を「教授16, 准教授10, 講師2, 助教10, 兼担54」から「教授17, 准教授10, 講師2, 助教8, 兼担53」に変更。 ・教員の懲戒解雇1により, 「家畜衛生学特論」の専任教員等の配置を「兼担4」から「兼担3」に変更。 ・教員の教授昇格1, 退職1, 懲戒解雇1により, 「獣医・農畜産学特別講義」の専任教員等の配置を「教授15, 准教授8, 兼担28」から「教授16, 准教授6, 兼担27」に変更。 ・教員の教授昇格1, 退職1により, 「獣医学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授17, 准教授9, 兼担1」から「教授18, 准教授7, 兼担1」に変更。 ・教員の教授昇格1, 退職1により, 「獣医学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授17, 准教授9, 助教13, 兼担1」から「教授18, 准教授7, 助教13, 兼担1」に変更。 ・教員の教授昇格1, 退職1により, 「獣医学特別演習Ⅰ」「獣医学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授15, 准教授8」から「教授16, 准教授6」に変更。 ・教員の教授昇格1により, 「基礎獣医学特論」「基礎獣医学特別演習Ⅰ」「基礎獣医学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授6, 准教授5」から「教授7, 准教授4」に変更。 ・教員の退職1により, 「臨床獣医学特論」の専任教員等の配置を「教授4, 准教授3, 兼担1」から「教授4, 准教授2, 兼担1」に変更。 ・教員の退職1により, 「臨床獣医学特別演習Ⅰ」「臨床獣医学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授4, 准教授3」から「教授4, 准教授2」に変更。 ・教員の退職1により, 「動物医療センター特別演習」の専任教員等の配置を「教授6, 准教授3, 兼担1」から「教授6, 准教授2, 兼担1」に変更。 ・教員の教授昇格1により, 「原虫病研究センター特別演習」の専任教員等の配置を「教授4, 准教授3」から「教授5, 准教授2」に変更。
--

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
10 科目	29 科目	0 科目	39 科目	10 科目 [0]	29 科目 [0]	0 科目 [0]	39 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{39} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	334,950㎡	— ㎡	— ㎡	334,950㎡			
	運動場用地	65,025㎡	— ㎡	— ㎡	65,025㎡			
	小 計	399,975㎡	— ㎡	— ㎡	399,975㎡			
	そ の 他	76,585㎡	— ㎡	— ㎡	76,585㎡			
	合 計	476,560㎡	— ㎡	— ㎡	476,560㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	30,398㎡ (30,398㎡)	— ㎡ (㎡)	— ㎡ (㎡)	30,398㎡ (30,398㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	18室	2室	165室	3室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	畜産学研究科畜産科学専攻		70 室					
	畜産学研究科獣医学専攻		51 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体
	畜産学研究科	214,798 [49,015] (214,798 [49,015])	6,244 [1,268] (6,244 [1,268])	8 [7] (8 [7])	2,396 (2396)	0 0	0 0	
	計	214,798 [49,015] (214,798 [49,015])	6,244 [1,268] (6,244 [1,268])	8 [7] (8 [7])	2,396 (2396)	0 0	0 0	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	取 納 可 能 冊 数					
	2,336㎡	166	224,194		大学全体			
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	2,894㎡	野球場、アイスホッケー場、サッカー場	ラグビー場、アメリカンフットボール場			大学全体		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	帯広畜産大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
畜産学部									
共同獣医学課程	6	40	-	240	学士 (獣医学)	1.02	平成24年度	北海道帯広市稲田町西2線11番地	
畜産科学課程	4	210	3年次 10	860	学士 (農学)	1.02	平成20年度	同上	
畜産学研究科									
畜産科学専攻 (博士前期課程)	2	48	-	96	修士 (農学) (畜産衛生学) (動物医科学)	1.18	平成30年度	同上	
畜産科学専攻 (博士後期課程)	3	10	-	30	博士 (農学) (畜産衛生学)	0.80	平成30年度	同上	
獣医学専攻 (博士課程)	4	5	-	20	博士 (獣医学)	0.40	平成30年度	同上	
畜産学研究科									
畜産生命科学専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (農学)	-	平成22年度	同上	平成30年度より学生募集停止
食品科学専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (農学)	-	平成22年度	同上	同上
資源環境農学専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (農学)	-	平成22年度	同上	同上
畜産衛生科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (畜産衛生学)	-	平成16年度	同上	同上
畜産衛生科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (畜産衛生学)	-	平成18年度	同上	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<畜産学研究科 畜産科学専攻(博士前期課程)>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成30年度】			【平成31年度】			【平成32年度】			【平成33年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	梅津 一孝 (60) <平成30年4月> 生物資源環境科学特論 農業環境工学特論 農業環境工学特別演習 農業機械システム工学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 農業環境工学特別研究Ⅰ 農業環境工学特別研究Ⅱ	専	教授	梅津 一孝 (60) <平成30年4月> 生物資源環境科学特論 農業環境工学特論 農業環境工学特別演習 農業機械システム工学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 農業環境工学特別研究Ⅰ 農業環境工学特別研究Ⅱ									
専	教授	浦島 匡 (61) <平成30年4月> 生物資源環境科学特論 食品科学特論 食品科学特別演習 食品検査学演習 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 食品科学特別研究Ⅰ 食品科学特別研究Ⅱ	専	教授	浦島 匡 (61) <平成30年4月> 生物資源環境科学特論 食品科学特論 食品科学特別演習 食品検査学演習 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 食品科学特別研究Ⅰ 食品科学特別研究Ⅱ									
専	教授	大和田 琢二 (58) <平成30年4月> 食品科学特論 食品科学特別演習 食品機能科学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 食品科学特別研究Ⅰ 食品科学特別研究Ⅱ	専	教授	大和田 琢二 (58) <平成30年4月> 食品科学特論 食品科学特別演習 食品機能科学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 食品科学特別研究Ⅰ 食品科学特別研究Ⅱ									
専	教授	押田 龍夫 (55) <平成30年4月> 生物資源環境科学特論 環境生態学特論 環境生態学特別演習 環境生命科学特論 生態システム生命科学特論 保全生態リスク管理学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 環境生態学特別研究Ⅰ 環境生態学特別研究Ⅱ	専	教授	押田 龍夫 (55) <平成30年4月> 生物資源環境科学特論 環境生態学特論 環境生態学特別演習 環境生命科学特論 生態システム生命科学特論 保全生態リスク管理学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 環境生態学特別研究Ⅰ 環境生態学特別研究Ⅱ									
専	教授	小田 有二 (63) <平成30年4月> 食品科学特別演習 食品機能科学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 食品科学特別研究Ⅰ 食品科学特別研究Ⅱ	専	教授	小田 有二 (63) <平成30年4月> 食品科学特別演習 食品機能科学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 食品科学特別研究Ⅰ 食品科学特別研究Ⅱ									
専	教授	加藤 清明 (54) <平成30年4月> 生物資源環境科学特論 植物生産科学特論 植物生産科学特別演習 植物遺伝育種学特論 植物生産環境学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 植物生産科学特別研究Ⅰ 植物生産科学特別研究Ⅱ	専	教授	加藤 清明 (54) <平成30年4月> 生物資源環境科学特論 植物生産科学特論 植物生産科学特別演習 植物遺伝育種学特論 植物生産環境学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 植物生産科学特別研究Ⅰ 植物生産科学特別研究Ⅱ									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	小嶋 道之 (61) ＜平成30年4月＞ 食品科学特別演習 食品加工・利用学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 食品科学特別研究Ⅰ 食品科学特別研究Ⅱ
		佐藤 禎稔 (61) ＜平成30年4月＞ 農業環境工学特論 農業環境工学特別演習 農業機械システム工学特 論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 農業環境工学特別研究Ⅰ 農業環境工学特別研究Ⅱ
専	教授	志賀 永一 (61) ＜平成30年4月＞ 農業経済学特論 農業経済学特別演習 畜産経営特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 農業経済学特別研究Ⅰ 農業経済学特別研究Ⅱ
		仙北谷 康 (53) ＜平成30年4月＞ 生物資源環境科学特論 農業経済学特論 農業経済学特別演習 畜産経営特論 応用農業統計学特論 食品流通・地域産業活性 化特論 企業戦略特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 農業経済学特別研究Ⅰ 農業経済学特別研究Ⅱ
専	教授	谷 昌幸 (50) ＜平成30年4月＞ 生物資源環境科学特論 植物生産科学特論 植物生産科学特別演習 植物生産環境学特論 植物生産管理学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 植物生産科学特別研究Ⅰ 植物生産科学特別研究Ⅱ
		辻 修 (62) ＜平成30年4月＞ 農業環境工学特論 農業環境工学特別演習 農業農村工学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 農業環境工学特別研究Ⅰ 農業環境工学特別研究Ⅱ
専	教授	手塚 雅文 (56) ＜平成30年4月＞ 生物資源環境科学特論 家畜生産科学特論 家畜生産科学特別演習 家畜生体機能学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 農業環境工学特別研究Ⅰ 農業環境工学特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	小嶋 道之 (61) ＜平成30年4月＞ 食品科学特別演習 食品加工・利用学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 食品科学特別研究Ⅰ 食品科学特別研究Ⅱ
		佐藤 禎稔 (61) ＜平成30年4月＞ 農業環境工学特論 農業環境工学特別演習 農業機械システム工学特 論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 農業環境工学特別研究Ⅰ 農業環境工学特別研究Ⅱ
専	教授	志賀 永一 (61) ＜平成30年4月＞ 農業経済学特論 農業経済学特別演習 畜産経営特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 農業経済学特別研究Ⅰ 農業経済学特別研究Ⅱ
		仙北谷 康 (53) ＜平成30年4月＞ 生物資源環境科学特論 農業経済学特論 農業経済学特別演習 畜産経営特論 応用農業統計学特論 食品流通・地域産業活性 化特論 企業戦略特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 農業経済学特別研究Ⅰ 農業経済学特別研究Ⅱ
専	教授	谷 昌幸 (50) ＜平成30年4月＞ 生物資源環境科学特論 植物生産科学特論 植物生産科学特別演習 植物生産環境学特論 植物生産管理学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 植物生産科学特別研究Ⅰ 植物生産科学特別研究Ⅱ
		辻 修 (62) ＜平成30年4月＞ 農業環境工学特論 農業環境工学特別演習 農業農村工学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 農業環境工学特別研究Ⅰ 農業環境工学特別研究Ⅱ
専	教授	手塚 雅文 (56) ＜平成30年4月＞ 生物資源環境科学特論 家畜生産科学特論 家畜生産科学特別演習 家畜生体機能学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 農業環境工学特別研究Ⅰ 農業環境工学特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	福島 道広 (57) <平成30年4月> 国際農畜産衛生科学特論 食品科学特論 食品科学特別演習 食品栄養化学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 食品科学特別研究Ⅰ 食品科学特別研究Ⅱ	専	教授	福島 道広 (57) <平成30年4月> 国際農畜産衛生科学特論 食品科学特論 食品科学特別演習 食品栄養化学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 食品科学特別研究Ⅰ 食品科学特別研究Ⅱ						
専	教授	三浦 秀穂 (61) <平成30年4月> 植物生産科学特論 植物生産科学特別演習 植物遺伝育種学特論 植物生産管理科学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 植物生産科学特別研究Ⅰ 植物生産科学特別研究Ⅱ	専	教授	三浦 秀穂 (61) <平成30年4月> 植物生産科学特論 植物生産科学特別演習 植物遺伝育種学特論 植物生産管理科学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 植物生産科学特別研究Ⅰ 植物生産科学特別研究Ⅱ						
専	教授	宮本 明夫 (58) <平成30年4月> 家畜生産科学特論 家畜生産科学特別演習 家畜育種繁殖学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 家畜生産科学特別研究Ⅰ 家畜生産科学特別研究Ⅱ	専	教授	宮本 明夫 (58) <平成30年4月> 家畜生産科学特論 家畜生産科学特別演習 家畜育種繁殖学特論 畜産衛生課題研究 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 家畜生産科学特別研究Ⅰ 家畜生産科学特別研究Ⅱ						
専	教授	山内 宏昭 (60) <平成30年4月> 国際農畜産衛生科学特論 食品科学特別演習 食品加工・利用学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 食品科学特別研究Ⅰ 食品科学特別研究Ⅱ	専	教授	山内 宏昭 (60) <平成30年4月> 国際農畜産衛生科学特論 食品科学特別演習 食品加工・利用学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 食品科学特別研究Ⅰ 食品科学特別研究Ⅱ						
専	特任教授	森松 文毅 (56) <平成30年4月> 畜産衛生学特論 畜産衛生課題研究									
専	特任教授	渡辺 信吾 (62) <平成30年4月> HACCPシステム構築演習 食品関連法規と食品製造・加工設備保全特論	専	特任教授	渡辺 信吾 (62) <平成30年4月> HACCPシステム構築演習 食品関連法規と食品製造・加工設備保全特論						
専	准教授	秋本 正博 (47) <平成30年4月> 生物資源環境科学特論 植物生産科学特論 植物生産科学特別演習 植物遺伝育種学特論 植物生産管理科学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 植物生産科学特別研究Ⅰ 植物生産科学特別研究Ⅱ	専	准教授	秋本 正博 (47) <平成30年4月> 生物資源環境科学特論 植物生産科学特論 植物生産科学特別演習 植物遺伝育種学特論 植物生産管理科学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 植物生産科学特別研究Ⅰ 植物生産科学特別研究Ⅱ						
専	准教授	ACOSTA AYALA Tomas Javier (51) 国際農畜産衛生科学特論 家畜生産科学特論 家畜生産科学特別演習 家畜育種繁殖学特論 畜産衛生学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 家畜生産科学特別研究Ⅰ 家畜生産科学特別研究Ⅱ	専	准教授	ACOSTA AYALA Tomas Javier (51) 国際農畜産衛生科学特論 家畜生産科学特論 家畜生産科学特別演習 家畜育種繁殖学特論 畜産衛生学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 家畜生産科学特別研究Ⅰ 家畜生産科学特別研究Ⅱ						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>
		担当授業科目名				担当授業科目名	
専	准教授	中村 正 (48) <平成30年4月>	中村 正 (48) <平成30年4月>				
		食品科学特論 食品科学特別演習 食品加工・利用学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 食品科学特別研究 I 食品科学特別研究 II	食品科学特論 食品科学特別演習 食品加工・利用学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 食品科学特別研究 I 食品科学特別研究 II				
専	准教授	西田 武弘 (53) <平成30年4月>	西田 武弘 (53) <平成30年4月>				
		家畜生産科学特論 家畜生産科学特別演習 家畜管理栄養学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 家畜生産科学特別研究 I 家畜生産科学特別研究 II	家畜生産科学特論 家畜生産科学特別演習 家畜管理栄養学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 家畜生産科学特別研究 I 家畜生産科学特別研究 II				
専	准教授	萩谷 功一 (48) <平成30年4月>	萩谷 功一 (48) <平成30年4月>				
		家畜生産科学特論 家畜生産科学特別演習 家畜育種繁殖学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 家畜生産科学特別研究 I 家畜生産科学特別研究 II	家畜生産科学特論 家畜生産科学特別演習 家畜育種繁殖学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 家畜生産科学特別研究 I 家畜生産科学特別研究 II				
専	准教授	橋本 靖 (51) <平成30年4月>	橋本 靖 (51) <平成30年4月>				
		環境生態学特論 環境生態学特別演習 環境生命科学特論 生態システム生命科学特論 保全生態リスク管理学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 環境生態学特別研究 I 環境生態学特別研究 II	環境生態学特論 環境生態学特別演習 環境生命科学特論 生態システム生命科学特論 保全生態リスク管理学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 環境生態学特別研究 I 環境生態学特別研究 II				
専	准教授	花田 正明 (57) <平成30年4月>	花田 正明 (57) <平成30年4月>				
		家畜生産科学特論 家畜生産科学特別演習 家畜管理栄養学特論 畜産衛生学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 家畜生産科学特別研究 I 家畜生産科学特別研究 II	家畜生産科学特論 家畜生産科学特別演習 家畜管理栄養学特論 畜産衛生学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 家畜生産科学特別研究 I 家畜生産科学特別研究 II				
専	准教授	韓 圭鎬 (43) <平成30年4月>	韓 圭鎬 (43) <平成30年4月>				
		食品科学特論 食品科学特別演習 食品栄養化学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 食品科学特別研究 I 食品科学特別研究 II	食品科学特論 食品科学特別演習 食品栄養化学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 食品科学特別研究 I 食品科学特別研究 II				
専	准教授	平田 昌弘 (51) <平成30年4月>	平田 昌弘 (51) <平成30年4月>				
		植物生産科学特論 植物生産科学特別演習 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 植物生産科学特別研究 I 植物生産科学特別研究 II	植物生産科学特論 植物生産科学特別演習 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 植物生産科学特別研究 I 植物生産科学特別研究 II				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	准教授	富張 瑞樹 (41) <平成30年4月>	富張 瑞樹 (41) <平成30年4月>			
		特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ 動物医学特別演習 動物臨床科学特論Ⅰ	特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ 動物医学特別演習 動物臨床科学特論Ⅰ			
兼任	准教授	西川 義文 (44) <平成30年4月>	西川 義文 (44) <平成30年4月>			
		特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ 動物機能医学特論Ⅱ	特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ 動物機能医学特論Ⅱ			
兼任	准教授	平館 善明 (42) <平成30年4月>	平館 善明 (42) <平成30年4月>			
		教育学特論	教育学特論			
兼任	准教授	廣井 豊子 (53) <平成30年4月>	廣井 豊子 (53) <平成30年4月>			
		国際農畜産衛生科学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ 動物医学特論 動物医学特別演習 動物病態・病因制御学特論Ⅱ 食品検査学演習	国際農畜産衛生科学特論 特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ 動物医学特論 動物医学特別演習 動物病態・病因制御学特論Ⅱ 食品検査学演習			
兼任	准教授	福本 晋也 (41) <平成30年4月>	福本 晋也 (41) <平成30年4月>			
		特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ	特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ			
兼任	准教授	松本 高太郎 (44) <平成30年4月>	松本 高太郎 (44) <平成30年4月>			
		特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ 動物臨床科学特論Ⅰ	特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ 動物臨床科学特論Ⅰ			
兼任	准教授	村田 浩一郎 (44) <平成30年4月>	村田 浩一郎 (44) <平成30年4月>			
		体育と健康	体育と健康			
兼任	准教授	室井 喜景 (41) <平成30年4月>	室井 喜景 (41) <平成30年4月>			
		特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ 動物医学特別演習 動物機能医学特論Ⅱ	特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ 動物医学特別演習 動物機能医学特論Ⅱ			
兼任	准教授	山崎 栄樹 (42) <平成30年4月>	山崎 栄樹 (42) <平成30年4月>			
		特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ 動物医学特別演習 食品衛生・有害物質特論 食品検査学演習	特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼンテーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ 動物医学特別演習 食品衛生・有害物質特論 食品検査学演習			
兼任	講師	岡崎 まゆみ (33) <平成30年4月>	岡崎 まゆみ (33) <平成30年4月>			
		国際農畜産衛生科学特論 環境法制度論	国際農畜産衛生科学特論 環境法制度論			

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼担	助教	近藤 大輔 (33) <平成30年4月>	近藤 大輔 (33) <平成30年4月>			
		特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ 動物医学特別演習 動物機能医学特論Ⅰ	特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ 動物医学特別演習 動物機能医学特論Ⅰ			
兼担	助教	白藤 梨可 (39) <平成30年4月>	白藤 梨可 (39) <平成30年4月>			
		特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ	特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ			
兼担	助教	田川 道人 (33) <平成30年4月>	田川 道人 (33) <平成30年4月>			
		特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ	特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ			
兼担	助教	羽田 真悟 (38) <平成30年4月>	羽田 真悟 (38) <平成30年4月>			
		特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ 動物医学特別演習 動物臨床科学特論Ⅲ	特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ 動物医学特別演習 動物臨床科学特論Ⅲ			
兼担	助教	堀内 雅之 (39) <平成30年4月>	堀内 雅之 (39) <平成30年4月>			
		特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ 動物医学特別演習 動物病態・病因制御学特 論Ⅰ	特別研究特論 国内フィールドワーク アカデミックプレゼン テーション演習 コーポレートワーク演習 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ 動物医学特別演習 動物病態・病因制御学特 論Ⅰ			
兼担	助教	柳川 将志 (35) <平成30年4月>	柳川 将志 (35) <平成30年4月>			
		特別研究特論 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ 動物臨床科学特論Ⅰ	特別研究特論 動物医学特別研究Ⅰ 動物医学特別研究Ⅱ 動物臨床科学特論Ⅰ			
兼担	教育研究 コーディネーター	三宅 哲雄 (67) <平成30年4月>	三宅 哲雄 (67) <平成30年4月>			
		知的財産制度論	知的財産制度論			

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
・ 専任、兼担、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・小崎教授は専任教員の就任を辞退し、非常勤講師として兼任教員に変更。
- ・森松特任教授は辞任により就任辞退。
- ・耕野准教授は昇格により教授に昇任。
- ・島田准教授は昇格により教授に昇任。
- ・A准教授は懲戒免職により解雇。
- ・西田准教授は昇格により教授に昇任。
- ・平田准教授は昇格により教授に昇任。
- ・宗岡准教授は昇格により教授に昇任。
- ・瀬尾講師は昇格により准教授に昇任。
- ・岡部特任准教授は任期なしの教員に採用され、特任准教授から講師に変更。
- ・佐々木直樹准教授は辞任により就任を辞退。
- ・Smith准教授は昇格により教授に昇任。
- ・西川准教授は昇格により教授に昇任。
- ・岡崎講師は辞任し、非常勤講師として兼任教員に変更。
- ・Hill講師は昇格により准教授に昇任。
- ・奥村助教は昇格により准教授に昇任。
- ・羽田助教は昇格により准教授に昇任。

【平成31年度】

--

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
7	5	1
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
27	21	1	14	63	30	16	0	14	60	30	16	0	14	60
(27)	(21)	(1)	(14)	(63)						[3]	[Δ5]	[Δ1]	[0]	[Δ3]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
45	13	5			43	12	5			43	12	5		
(45)	(13)	(5)								[Δ2]	[Δ1]	[]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{60}{63} = \boxed{95.23} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{60} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	小崎 浩	選択	食品科学特論	②	専任教員への就任を辞退し、 非常勤講師として兼任教員に就任 (30)	
			選択	食品科学特別演習	①		
			選択	食品加工・利用学特論	②		
			必修	特別研究特論	①		
			選択	海外フィールドワークⅠ	①		
			選択	海外フィールドワークⅡ	①		
			選択	国内フィールドワーク	①		
			選択	アカデミックプレゼンテーション演習	①		
			選択	コーポレートワーク演習	①		
			必修	食品科学特別研究Ⅰ	①		
2	特任教授	森松 文毅	選択	畜産衛生学特論	①	辞職のため就任辞退 (30)	
			選択	畜産衛生学課題研究	①		
3	准教授	A	必修	生物資源環境科学特論	①	懲戒免職による解雇のため未就任 (30)	
			選択	家畜生産科学特論	①		
			選択	家畜生産科学特別演習	①		
			選択	家畜育種繁殖学特論	①		
			選択	畜産衛生学特論	①		
			必修	特別研究特論	①		
			選択	国内フィールドワーク	①		
			選択	アカデミックプレゼンテーション演習	①		
			選択	コーポレートワーク演習	①		
			選択	家畜生産科学特別研究Ⅰ	①		
選択	家畜生産科学特別研究Ⅱ	①					
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
3	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	17 科目	選択	15 科目	選択	2 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	19 科目	計	17 科目	計	2 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		該当無し					
2							
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
3	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	17 科目	選択	15 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	19 科目	計	17 科目	計	2 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{3}{63} = \boxed{4.76} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		該当無し					
2							
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「生物資源環境科学特論」「家畜生産科学特論」「家畜生産科学特別演習」「家畜育種繁殖学特論」「食品科学特論」「食品科学特別演習」「食品加工・利用学特論」「畜産衛生学特論」「畜産衛生課題研究」については、科目開始前の変更のため、変更したシラバス公開した。</p> <p>その他の科目は、指導教員が担当する科目であるため、各コースにおいて担当(指導)教員を調整した。</p> <p>懲戒解雇教員に係る学生については、カウンセラーの協力のもと、畜産科学専攻長および家畜生産科学コース長によるヒアリングを行い、学生の希望を最大限尊重した対応を行った。</p> <p>専任教員数は充分にあり、他の専任教員や辞職した本人が非常勤講師として授業を担当することで教育上の支障はない。また、教員の懲戒解雇に係る指導学生についても、カウンセラーも含めた対応を十分に行うことで学生への影響を最大限軽減した。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名				
専	教授	宮本 明夫 (58) <平成30年4月> 獣医・農畜産学特論 家畜衛生学特論 獣医・農畜産学特別講義 リサーチコミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 国内リサーチ演習 海外リサーチ演習 国内フィールドワーク演習 海外フィールドワーク演習 リサーチ08-9&演習 リサーチ-10解析演習 リサーチ10-11演習 リサーチ11-12演習 リサーチ12-13演習 7&7 ミカレクサ-演習 7&7 ミカレクサ-演習 社会人特別演習	宮本 明夫 (58) <平成30年4月> 獣医・農畜産学特論 家畜衛生学特論 獣医・農畜産学特別講義 リサーチコミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 国内リサーチ演習 海外リサーチ演習 国内フィールドワーク演習 海外フィールドワーク演習 リサーチ08-9&演習 リサーチ-10解析演習 リサーチ10-11演習 リサーチ11-12演習 リサーチ12-13演習 7&7 ミカレクサ-演習 7&7 ミカレクサ-演習 社会人特別演習			
		山内 宏昭 (60) <平成30年4月> 獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別講義 リサーチコミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 国内リサーチ演習 海外リサーチ演習 国内フィールドワーク演習 海外フィールドワーク演習 リサーチ08-9&演習 リサーチ-10解析演習 リサーチ10-11演習 リサーチ11-12演習 リサーチ12-13演習 7&7 ミカレクサ-演習 7&7 ミカレクサ-演習 社会人特別演習	山内 宏昭 (60) <平成30年4月> 獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別講義 リサーチコミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 国内リサーチ演習 海外リサーチ演習 国内フィールドワーク演習 海外フィールドワーク演習 リサーチ08-9&演習 リサーチ-10解析演習 リサーチ10-11演習 リサーチ11-12演習 リサーチ12-13演習 7&7 ミカレクサ-演習 7&7 ミカレクサ-演習 社会人特別演習			
		渡辺 信吾 (62) <平成30年4月> 食品安全マネージメント・内部監査演習	渡辺 信吾 (62) <平成30年4月> 食品安全マネージメント・内部監査演習			
		秋本 正博 (47) <平成30年4月> 獣医・農畜産学特論 リサーチコミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチ08-9&演習 リサーチ-10解析演習 リサーチ10-11演習 リサーチ11-12演習 リサーチ12-13演習 7&7 ミカレクサ-演習 7&7 ミカレクサ-演習	秋本 正博 (47) <平成30年4月> 獣医・農畜産学特論 リサーチコミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチ08-9&演習 リサーチ-10解析演習 リサーチ10-11演習 リサーチ11-12演習 リサーチ12-13演習 7&7 ミカレクサ-演習 7&7 ミカレクサ-演習			
		ACOSTA AYALA Tomas Javier (51) 獣医・農畜産学特論 家畜衛生学特論 獣医・農畜産学特別講義 リサーチコミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 国内リサーチ演習 海外リサーチ演習 国内フィールドワーク演習 海外フィールドワーク演習 リサーチ08-9&演習 リサーチ-10解析演習 リサーチ10-11演習 リサーチ11-12演習 リサーチ12-13演習 7&7 ミカレクサ-演習 7&7 ミカレクサ-演習 社会人特別演習	ACOSTA AYALA Tomas Javier (51) 獣医・農畜産学特論 家畜衛生学特論 獣医・農畜産学特別講義 リサーチコミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 国内リサーチ演習 海外リサーチ演習 国内フィールドワーク演習 海外フィールドワーク演習 リサーチ08-9&演習 リサーチ-10解析演習 リサーチ10-11演習 リサーチ11-12演習 リサーチ12-13演習 7&7 ミカレクサ-演習 7&7 ミカレクサ-演習 社会人特別演習			
専	准教授	大西 一光 (46) <平成30年4月> 獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別講義 リサーチコミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 国内リサーチ演習 海外リサーチ演習 国内フィールドワーク演習 海外フィールドワーク演習 リサーチ08-9&演習 リサーチ-10解析演習 リサーチ10-11演習 リサーチ11-12演習 リサーチ12-13演習 7&7 ミカレクサ-演習 7&7 ミカレクサ-演習 社会人特別演習	大西 一光 (46) <平成30年4月> 獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別講義 リサーチコミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 国内リサーチ演習 海外リサーチ演習 国内フィールドワーク演習 海外フィールドワーク演習 リサーチ08-9&演習 リサーチ-10解析演習 リサーチ10-11演習 リサーチ11-12演習 リサーチ12-13演習 7&7 ミカレクサ-演習 7&7 ミカレクサ-演習 社会人特別演習			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞		専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞		専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞		専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	
兼任	准教授	山崎 栄樹 (42) ＜平成30年4月＞		兼任	准教授	山崎 栄樹 (42) ＜平成30年4月＞									
		獣医学コミュニケーション 獣医学・農畜産学特論 獣医学・農畜産学特別演習 特別研究 獣医学博士の演習 獣医学の解析演習 獣医学のレクチャー演習 獣医学の海外研修演習 獣医学の統計演習 7agen ミュルケナー演習 7agen ミツケイテング演習				獣医学コミュニケーション 獣医学・農畜産学特論 獣医学・農畜産学特別演習 特別研究 獣医学博士の演習 獣医学の解析演習 獣医学のレクチャー演習 獣医学の海外研修演習 獣医学の統計演習 7agen ミュルケナー演習 7agen ミツケイテング演習									
兼任	講師	岡崎 まゆみ (33) ＜平成30年4月＞		兼任	講師	岡崎 まゆみ (33) ＜平成30年4月＞									
兼任	講師	茅野 光範 (37) ＜平成30年4月＞		兼任	講師	茅野 光範 (37) ＜平成30年4月＞									
		獣医学コミュニケーション 獣医学・農畜産学特論 獣医学・農畜産学特別演習 特別研究 獣医学博士の演習 獣医学の解析演習 獣医学のレクチャー演習 獣医学の海外研修演習 獣医学の統計演習 7agen ミュルケナー演習 7agen ミツケイテング演習 家畜疫学特論				獣医学コミュニケーション 獣医学・農畜産学特論 獣医学・農畜産学特別演習 特別研究 獣医学博士の演習 獣医学の解析演習 獣医学のレクチャー演習 獣医学の海外研修演習 獣医学の統計演習 7agen ミュルケナー演習 7agen ミツケイテング演習 家畜疫学特論									
兼任	講師	Campbell David Jon (60) ＜平成30年4月＞		兼任	講師	Campbell David Jon (60) ＜平成30年4月＞									
兼任	講師	Glen Hill (61) ＜平成30年4月＞		兼任	准教授	Glen Hill (61) ＜平成30年4月＞									
		獣医学博士の演習 獣医学のレクチャー演習 獣医学の海外研修演習 7agen ミュルケナー演習 English Communication for Science				獣医学博士の演習 獣医学のレクチャー演習 獣医学の海外研修演習 7agen ミュルケナー演習 English Communication for Science									
兼任	講師	豊留 孝仁 (43) ＜平成30年4月＞		兼任	講師	豊留 孝仁 (43) ＜平成30年4月＞									
		獣医学コミュニケーション 獣医学・農畜産学特論 獣医学・農畜産学特別演習 特別研究 獣医学博士の演習 獣医学の解析演習 獣医学のレクチャー演習 獣医学の海外研修演習 獣医学の統計演習 7agen ミュルケナー演習 7agen ミツケイテング演習				獣医学コミュニケーション 獣医学・農畜産学特論 獣医学・農畜産学特別演習 特別研究 獣医学博士の演習 獣医学の解析演習 獣医学のレクチャー演習 獣医学の海外研修演習 獣医学の統計演習 7agen ミュルケナー演習 7agen ミツケイテング演習									
兼任	助教	滝木 孝弘 (35) ＜平成30年4月＞		兼任	助教	滝木 孝弘 (35) ＜平成30年4月＞									
		獣医学コミュニケーション 獣医学・農畜産学特論 獣医学・農畜産学特別演習 特別研究 獣医学博士の演習 獣医学の解析演習 獣医学のレクチャー演習 獣医学の海外研修演習 獣医学の統計演習 7agen ミュルケナー演習 7agen ミツケイテング演習				獣医学コミュニケーション 獣医学・農畜産学特論 獣医学・農畜産学特別演習 特別研究 獣医学博士の演習 獣医学の解析演習 獣医学のレクチャー演習 獣医学の海外研修演習 獣医学の統計演習 7agen ミュルケナー演習 7agen ミツケイテング演習									
兼任	助教	伊藤 めぐみ (45) ＜平成30年4月＞		兼任	助教	伊藤 めぐみ (45) ＜平成30年4月＞									
		獣医学コミュニケーション 獣医学・農畜産学特論 獣医学博士の演習 獣医学の解析演習 獣医学のレクチャー演習 獣医学の海外研修演習 獣医学の統計演習				獣医学コミュニケーション 獣医学・農畜産学特論 獣医学博士の演習 獣医学の解析演習 獣医学のレクチャー演習 獣医学の海外研修演習 獣医学の統計演習									
兼任	助教	奥村 香世 (42) ＜平成30年4月＞		兼任	准教授	奥村 香世 (42) ＜平成30年4月＞									
		獣医学コミュニケーション 獣医学・農畜産学特論 獣医学・農畜産学特別演習 特別研究 獣医学博士の演習 獣医学の解析演習 獣医学のレクチャー演習 獣医学の海外研修演習 獣医学の統計演習 7agen ミュルケナー演習 7agen ミツケイテング演習				獣医学コミュニケーション 獣医学・農畜産学特論 獣医学・農畜産学特別演習 特別研究 獣医学博士の演習 獣医学の解析演習 獣医学のレクチャー演習 獣医学の海外研修演習 獣医学の統計演習 7agen ミュルケナー演習 7agen ミツケイテング演習									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	助教	堀内 雅之 (39) <平成30年4月>	堀内 雅之 (39) <平成30年4月>			
		リサーチコミュニケーション 獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチロボ-ザル演習 リサーチ解剖演習 リサーチレベ-ンション演習 リサーチホ-パ-テイ-ンク演習 リサーチマ-ジ-ナル演習 7好ミツケレキ-演習 7好ミツケイ-ンク演習	リサーチコミュニケーション 獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチロボ-ザル演習 リサーチ解剖演習 リサーチレベ-ンション演習 リサーチホ-パ-テイ-ンク演習 リサーチマ-ジ-ナル演習 7好ミツケレキ-演習 7好ミツケイ-ンク演習			
兼任	助教	柳川 将志 (35) <平成30年4月>	柳川 将志 (35) <平成30年4月>			
		リサーチコミュニケーション 獣医・農畜産学特論 リサーチロボ-ザル演習 リサーチ解剖演習 リサーチレベ-ンション演習 リサーチホ-パ-テイ-ンク演習 リサーチマ-ジ-ナル演習	リサーチコミュニケーション 獣医・農畜産学特論 リサーチロボ-ザル演習 リサーチ解剖演習 リサーチレベ-ンション演習 リサーチホ-パ-テイ-ンク演習 リサーチマ-ジ-ナル演習			

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・ 耕野准教授は昇格により教授に昇任。
- ・ 島田准教授は昇格により教授に昇任。
- ・ A准教授は懲戒免職により解雇。
- ・ 西田准教授は昇格により教授に昇任。
- ・ 平田准教授は昇格により教授に昇任。
- ・ 宗岡准教授は昇格により教授に昇任。
- ・ 瀬尾講師は昇格により准教授に昇任。
- ・ 佐々木直樹准教授は辞任により就任を辞退。
- ・ Smith准教授は昇格により教授に昇任。
- ・ 西川准教授は昇格により教授に昇任。
- ・ 岡崎講師は辞任し、非常勤講師として兼任教員に変更。
- ・ Hill講師は昇格により准教授に昇任。
- ・ 奥村助教は昇格により准教授に昇任。
- ・ 羽田助教は昇格により准教授に昇任。

【平成31年度】

--

【平成32年度】

--

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	4
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
24	21	1	14	60	29	16	0	14	59	29	16	0	14	59
(24)	(21)	(1)	(14)	(60)						[5]	[Δ5]	[Δ1]	[0]	[Δ1]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
34	25	1			33	25	1			33	25	1		
(34)	(25)	(1)								[Δ1]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{59}{60} = \boxed{98.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{59} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	准教授	A	必修	獣医・農畜産学特論	①	懲戒免職による解雇のため未就任 (30)	
			選択	家畜衛生学特論	①		
			選択	獣医・農畜産学特別講義	①		
			必修	リサーチコミュニケーション	①		
			必修	獣医・農畜産学特別演習	①		
			必修	特別研究	①		
			選択	国内リサーチ演習	①		
			選択	海外リサーチ演習	①		
			選択	国内フィールドワーク演習	①		
			選択	海外フィールドワーク演習	①		
			選択	リサーチプロポーザル演習	①		
			選択	リサーチデータ解析演習	①		
			選択	リサーチプレゼンテーション演習	①		
			選択	リサーチペーパーライティング演習	①		
			選択	リサーチマネージメント演習	①		
			選択	アカデミックレクチャー演習	①		
選択	アカデミックティーチング演習	①					
選択	社会人特別演習	①					
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目
		選択	14 科目	選択	14 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	18 科目	計	18 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		該当無し					
2							
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	14 科目	選択	14 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	18 科目	計	18 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{60} = \boxed{1.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1		該当無し							
2									
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「家畜衛生学特論」については、科目開始前の変更のため、変更したシラバスを公開した。 その他の科目については、指導教員が担当する科目または畜産科学専攻においてその年度の担当者を指名する科目であるため、今年度の担当教員について同専攻において調整し、新入生オリエンテーションで学生に説明した。 専任教員数は充分にあり、他の専任教員が授業を担当することで教育上の支障はない。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	准教授	佐々木 直樹 (51) <平成30年4月>	獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別講義 獣医学特論Ⅰ 獣医学特論Ⅱ 臨床獣医学特論 動物医療むかへ特別演習 獣医学特別演習Ⅰ 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 国内海外演習 海外フェロウシップ演習 国内フェロウシップ演習 海外フェロウシップ演習 獣医学特別演習Ⅰ 獣医学特別演習Ⅱ 臨床獣医学特別演習Ⅰ 臨床獣医学特別演習Ⅱ												
専	准教授	富張 瑞樹 (41) <平成30年4月>	獣医・農畜産学特論 獣医学特論Ⅰ 獣医学特論Ⅱ 臨床獣医学特論※ 動物医療むかへ特別演習 獣医学特別演習Ⅰ 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 獣医学特別演習Ⅰ 獣医学特別演習Ⅱ 臨床獣医学特別演習Ⅰ 臨床獣医学特別演習Ⅱ	専	准教授	富張 瑞樹 (41) <平成30年4月>	獣医・農畜産学特論 獣医学特論Ⅰ 獣医学特論Ⅱ 臨床獣医学特論※ 動物医療むかへ特別演習 獣医学特別演習Ⅰ 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 獣医学特別演習Ⅰ 獣医学特別演習Ⅱ 臨床獣医学特別演習Ⅰ 臨床獣医学特別演習Ⅱ								
専	准教授	西川 義文 (44) <平成30年4月>	獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別講義 獣医学特論Ⅰ 獣医学特論Ⅱ 基礎獣医学特論 昆虫病研究むかへ特別演習 獣医学特別演習Ⅰ 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 国内海外演習 海外海外演習 国内フェロウシップ演習 海外フェロウシップ演習 獣医学特別演習Ⅰ 獣医学特別演習Ⅱ 臨床獣医学特別演習Ⅰ 臨床獣医学特別演習Ⅱ	専	教授	西川 義文 (44) <平成30年4月>	獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別講義 獣医学特論Ⅰ 獣医学特論Ⅱ 基礎獣医学特論 昆虫病研究むかへ特別演習 獣医学特別演習Ⅰ 獣医学特別演習Ⅱ 臨床獣医学特別演習Ⅰ 臨床獣医学特別演習Ⅱ								
専	准教授	廣井 豊子 (53) <平成30年4月>	獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別講義 獣医学特論Ⅰ 獣医学特論Ⅱ 応用獣医学特論 獣医学特別演習Ⅰ 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 国内海外演習 海外海外演習 国内フェロウシップ演習 海外フェロウシップ演習 獣医学特別演習Ⅰ 獣医学特別演習Ⅱ 臨床獣医学特別演習Ⅰ 臨床獣医学特別演習Ⅱ	専	准教授	廣井 豊子 (53) <平成30年4月>	獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別講義 獣医学特論Ⅰ 獣医学特論Ⅱ 応用獣医学特論 獣医学特別演習Ⅰ 獣医学特別演習Ⅱ 臨床獣医学特別演習Ⅰ 臨床獣医学特別演習Ⅱ								

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名																				
専	准教授	福本 晋也 (41) <平成30年4月>	獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別講義 獣医学特論Ⅰ 獣医学特論Ⅱ 基礎獣医学特論 臨床獣医学特論 動物医療センター特別演習 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 国内リサーチ演習 海外リサーチ演習 国内フェルム演習 海外フェルム演習 リサーチ・データ解析演習 リサーチ・プレゼンテーション演習 リサーチ・ネットワーク演習 リサーチ・マネジメント演習 リサーチ・コミュニケーション演習 7th ミニカンフェレンス演習 7th ミニカンフェレンス演習 社会人特別演習 獣医学特別演習Ⅰ 獣医学特別演習Ⅱ 基礎獣医学特別演習Ⅰ 基礎獣医学特別演習Ⅱ	専	准教授	福本 晋也 (41) <平成30年4月>	獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別講義 獣医学特論Ⅰ 獣医学特論Ⅱ 基礎獣医学特論 臨床獣医学特論 動物医療センター特別演習 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 国内リサーチ演習 海外リサーチ演習 国内フェルム演習 海外フェルム演習 リサーチ・データ解析演習 リサーチ・プレゼンテーション演習 リサーチ・ネットワーク演習 リサーチ・マネジメント演習 リサーチ・コミュニケーション演習 7th ミニカンフェレンス演習 7th ミニカンフェレンス演習 社会人特別演習 獣医学特別演習Ⅰ 獣医学特別演習Ⅱ 基礎獣医学特別演習Ⅰ 基礎獣医学特別演習Ⅱ	専	准教授	松本 高太郎 (44) <平成30年4月>	獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別講義 獣医学特論Ⅰ 獣医学特論Ⅱ 臨床獣医学特論 動物医療センター特別演習 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 国内リサーチ演習 海外リサーチ演習 国内フェルム演習 海外フェルム演習 リサーチ・データ解析演習 リサーチ・プレゼンテーション演習 リサーチ・ネットワーク演習 リサーチ・マネジメント演習 リサーチ・コミュニケーション演習 7th ミニカンフェレンス演習 7th ミニカンフェレンス演習 社会人特別演習 獣医学特別演習Ⅰ 獣医学特別演習Ⅱ 臨床獣医学特別演習Ⅰ 臨床獣医学特別演習Ⅱ	専	准教授	室井 喜景 (41) <平成30年4月>	獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別講義 獣医学特論Ⅰ 獣医学特論Ⅱ 基礎獣医学特論 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 国内リサーチ演習 海外リサーチ演習 国内フェルム演習 海外フェルム演習 リサーチ・データ解析演習 リサーチ・プレゼンテーション演習 リサーチ・ネットワーク演習 リサーチ・マネジメント演習 リサーチ・コミュニケーション演習 7th ミニカンフェレンス演習 7th ミニカンフェレンス演習 社会人特別演習 獣医学特別演習Ⅰ 獣医学特別演習Ⅱ 基礎獣医学特別演習Ⅰ 基礎獣医学特別演習Ⅱ	専	准教授	室井 喜景 (41) <平成30年4月>	獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別講義 獣医学特論Ⅰ 獣医学特論Ⅱ 基礎獣医学特論 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 国内リサーチ演習 海外リサーチ演習 国内フェルム演習 海外フェルム演習 リサーチ・データ解析演習 リサーチ・プレゼンテーション演習 リサーチ・ネットワーク演習 リサーチ・マネジメント演習 リサーチ・コミュニケーション演習 7th ミニカンフェレンス演習 7th ミニカンフェレンス演習 社会人特別演習 獣医学特別演習Ⅰ 獣医学特別演習Ⅱ 基礎獣医学特別演習Ⅰ 基礎獣医学特別演習Ⅱ	専	准教授	山崎 栄樹 (42) <平成30年4月>	獣医・農畜産学特論 動物・食品検査診断センター特別演習 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチ・データ解析演習 リサーチ・プレゼンテーション演習 リサーチ・ネットワーク演習 リサーチ・マネジメント演習 7th ミニカンフェレンス演習 7th ミニカンフェレンス演習	専	准教授	山崎 栄樹 (42) <平成30年4月>	獣医・農畜産学特論 動物・食品検査診断センター特別演習 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチ・データ解析演習 リサーチ・プレゼンテーション演習 リサーチ・ネットワーク演習 リサーチ・マネジメント演習 7th ミニカンフェレンス演習 7th ミニカンフェレンス演習	専	講師	茅野 光範 (37) <平成30年4月>	獣医・農畜産学特論 家畜疫学特論 リサーチ・コミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチ・データ解析演習 リサーチ・プレゼンテーション演習 リサーチ・ネットワーク演習 リサーチ・マネジメント演習 7th ミニカンフェレンス演習 7th ミニカンフェレンス演習	専	講師	茅野 光範 (37) <平成30年4月>	獣医・農畜産学特論 家畜疫学特論 リサーチ・コミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチ・データ解析演習 リサーチ・プレゼンテーション演習 リサーチ・ネットワーク演習 リサーチ・マネジメント演習 7th ミニカンフェレンス演習 7th ミニカンフェレンス演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	助教	山下 慎司 (40)
		<平成30年4月>
		獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 獣医・動物学特別演習 獣医・動物学特別演習 獣医・動物学特別演習 獣医・動物学特別演習 獣医・動物学特別演習 獣医・動物学特別演習 獣医・動物学特別演習 獣医・動物学特別演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	助教	山下 慎司 (40)
		<平成30年4月>
		獣医・農畜産学特論 獣医・動物学特別演習 獣医・動物学特別演習 特別研究 獣医・動物学特別演習 獣医・動物学特別演習 獣医・動物学特別演習 獣医・動物学特別演習 獣医・動物学特別演習 獣医・動物学特別演習 獣医・動物学特別演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名

- (注)
- ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・佐々木直樹准教授は辞任により就任を辞退。
- ・西川准教授は昇格により教授に昇任。
- ・奥村助教は昇格により准教授に昇任。
- ・羽田助教は昇格により准教授に昇任。
- ・耕野准教授は昇格により教授に昇任。
- ・島田准教授は昇格により教授に昇任。
- ・A准教授は懲戒免職により解雇。
- ・Smith准教授は昇格により教授に昇任。
- ・西田准教授は昇格により教授に昇任。
- ・平田准教授は昇格により教授に昇任。
- ・宗岡准教授は昇格により教授に昇任。
- ・岡崎講師は辞任し、非常勤講師として兼任教員に変更。
- ・Hill講師は昇格により准教授に昇任。
- ・瀬尾講師は昇格により准教授に昇任。

【平成31年度】

--

【平成32年度】

--

【平成33年度】

--

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	4
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
17	10	2	12	41	18	10	2	10	40	18	10	2	10	40
(17)	(10)	(2)	(12)	(60)						[1]	[0]	[0]	[Δ2]	[Δ1]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
23	18	0			22	18	0			22	18	0		
(23)	(18)	(0)								[Δ1]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記(B)）の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{40}{41} = \boxed{97.56} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{40} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	佐々木 直樹	必修	獣医・農畜産学特論	①	辞職のため就任辞退 (30)			
			必修	獣医・農畜産学特別講義	①				
			必修	獣医学特論Ⅰ	①				
			必修	獣医学特論Ⅱ	①				
			選択	臨床獣医学特論	①				
			選択	動物医療センター特別演習	①				
			必修	リサーチコミュニケーション	①				
			必修	獣医・農畜産学特別演習	①				
			必修	特別研究	①				
			選択	国内リサーチ演習	①				
			選択	海外リサーチ演習	①				
			選択	国内フィールドワーク演習	①				
			選択	海外フィールドワーク演習	①				
			選択	リサーチプロポーザル演習	①				
			選択	リサーチデータ解析演習	①				
			選択	リサーチプレゼンテーション演習	①				
			選択	リサーチペーパーライティング演習	①				
			選択	リサーチマネージメント演習	①				
			選択	アカデミックレクチャー演習	①				
			選択	アカデミックティーチング演習	①				
必修	社会人特別演習	①							
必修	獣医学特別演習Ⅰ	①							
必修	獣医学特別演習Ⅱ	①							
選択	臨床獣医学特別演習Ⅰ	①							
選択	臨床獣医学特別演習Ⅱ	①							
合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	9 科目	必修	9 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	16 科目	選択	16 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	25 科目	計	25 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1		該当無し							
2									
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人	必修	9 科目	必修	9 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	16 科目	選択	16 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	25 科目	計	25 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{41} = \boxed{2.43} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1		該当無し							
2									
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>シラバスに科目担当者が記載されている科目については、科目開始前の変更のため、変更したシラバスを公開した。 指導教員が担当する科目については、獣医学専攻内で調整した。 専任教員数は充分にあり、他の専任教員が授業を担当することで教育上の支障はない。</p>

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年8月)	畜産科学専攻博士前期課程における入学者のコース振り分け方法について、学生に対して誤解を与えないよう、学生募集時に十分周知すること。	留意事項 学内で実施した大学院説明会で説明するとともに募集要項に各コースを担当する指導教員の一覧を記載した。入学願書には希望するコースと指導教員を記載する箇所があり、コースと指導教員の整合性については願書受付の際にチェックしている。これにより、自身が所属するコースについて誤解が発生することはなかった。	履行済

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<畜産学研究科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当無し	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大学院教育部会議

b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

平成29年度大学院教育部会議 (構成員14名)

- ・ 第168回 平成29年4月6日 13名
- ・ 第169回 平成29年4月19日 12名 ※メール会議
- ・ 第170回 平成29年5月9日 14名
- ・ 第171回 平成29年6月7日 13名
- ・ 第172回 平成29年7月11日 9名
- ・ 第173回 平成29年9月5日 12名
- ・ 第174回 平成29年9月14日 12名 ※メール会議
- ・ 第175回 平成29年10月10日 12名 ※メール会議
- ・ 第176回 平成29年10月24日 13名 ※メール会議
- ・ 第177回 平成29年11月7日 11名
- ・ 第178回 平成29年12月12日 14名
- ・ 第179回 平成30年2月6日 14名
- ・ 第180回 平成30年3月1日 11名
- ・ 第181回 平成30年3月22日 11名 ※メール会議
- ・ 第182回 平成30年3月27日 12名 ※メール会議

平成30年度大学院教育部会議 (構成員18名)

- ・ 第183回 平成30年4月17日 16名
- ・ 第184回 平成30年4月24日 16名 ※メール会議

c 委員会の審議事項等

- (1) 教育課程の編成に関する事。
- (2) 大学院担当教員の資格審査に関する事。
- (3) 修了に関する事。
- (4) 休学, 復学, 退学, 留学及び除籍に関する事。
- (5) 学生の表彰及び懲戒に関する事。
- (6) 学位(学士の学位を除く。)に関する事。
- (7) 研究生, 科目等履修生, 特別聴講学生及び特別研究学生に関する事。
- (8) 留学生の受入及び派遣に関する事。
- (9) 学生の就職支援に関する事。
- (10) 教育予算の使用及び配分に関する事。
- (11) その他教育及び学生支援に関する重要事項

② 実施状況

a 実施内容

平成29年度実施内容

- ・第1回FD タイトル「アセスメント・ポリシーと大学教育の組織的質保証」
- ・第2回FD タイトル「LGBT（性的少数者）への適切な配慮対応のための基礎的な理解にむけて」
- ・第3回FD タイトル「アセスメント・ポリシーの運用」
- ・ワークショップ タイトル「クリッカーを使ってみよう」
- ・オープンクラス（授業参観） 4回

b 実施方法

研修会型（全学教職員向け）FD、非研修会型（希望する教職員向けセミナー、ワークショップ、授業参観）FD

c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成29年度実施状況

- ・第1回FD 平成29年7月20日 52名
- ・第2回FD 平成29年12月14日 47名
- ・第3回FD 平成30年1月29日 54名
- ・ワークショップ 平成29年9月22日 19名
- ・オープンクラス1 平成29年6月1日 12名
- ・オープンクラス2 平成29年7月4日 9名
- ・オープンクラス3 平成29年10月19日 12名
- ・オープンクラス4 平成30年2月9日 5名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学習到達度試験（アセスメント・テスト、TOEIC-IPテスト）、学習行動調査、ラーニング・ポートフォリオ、ルーブリック評価とフィードバック、学生および教員による授業評価と、これらを包括するIRについて取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施：あり、 時期：前期終了後および後期終了後の2回

b 教員や学生への公開状況、方法等

公開：あり、 方法：ホームページ、ポータルサイト

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

教育の内部質保証については、本学が定めた中期目標・中期計画及び年度計画に加えて、教育及び教育支援者、学生の受入、教育内容、方法、学習成果、施設・設備、学生支援、教育情報等の公表に関する目標を定めて計画を立案・実施し、自己点検・評価に基づいた改善・改革を行うこととし、大学内に設置した教育システム内部監査チームが第三者の視点による評価及び改善方策等の助言を行うことにより、実効性のある教育PDCAサイクルを着実に稼働させる方針である。

また、アセスメント・ポリシーに基づき、学生の学習成果を評価する際に収集したデータ（各種アンケート結果、単位取得状況、授業出席状況、休学・退学の状況等）について、IRを担当する大学情報分析室や大学教育センターの担当部署において分析して、大学教育センター長に報告し、課題・改善方策等を各種会議等で検討して教育の質の向上を図る体制とする。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・『平成30年度事業年度に係る実績報告書』平成31年度 公表予定
- ・『大学機関別認証評価 自己評価書』平成29年度受審 公表済

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成36年度に機関別認証評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年 6月)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。